

富浦地区学校再編検討委員会第5回会議 会議録

日時 令和7年2月20日（木）

午後7時00分～午後8時35分

会場 南房総市役所別館1 大会議室

【当日関係者】

検討委員	13人（5人欠席）
オブザーバー	3人
傍聴人	0人
報道	1人
事務局	11人

1 開会

進行 皆さんこんばんは。

若干時間前ではございますけれども、予定されている委員の皆様全員お揃いとなってございます。開催をさせていただきたいと存じます。

本日は大変お忙しい中、御出席をいただき誠にありがとうございます。

本日の会議の進行を務めます、教育委員会事務局学校再編整備課長の平井と申します。

よろしくお願いいたします。

進行 会議に入る前に、お手元に配付してございます、資料の確認をお願いします。

まず「会議次第」。

次に資料1「富浦地区の中学校再編（案）」でA4片面印刷のもの。

次に資料2「白浜地区・千倉地区学校再編検討委員会合同会議及び専門部会（参考）」、ホチキス留めとなっているもの。

配付物は以上の3種類となります。

御確認いただき、不足等ございましたら、手を挙げていただけますか。

資料の確認よろしゅうございますか。

また、本日の会議は房日新聞の記者の方が取材に見えており、会議の様

子を撮影しますので、御了承いただけますようお願い申し上げます。

また本日、5名の委員より、所用によりまして欠席との御連絡をいただいておりますので、御報告いたします。

進行 それでは、ただ今から、富浦地区学校再編検討委員会第5回会議を開催いたします。

会議は次第に沿って進行いたします。

2 委員長挨拶

進行 次第の2、委員長挨拶。

穂積委員長、お願いいたします。

委員長 皆様こんばんは。

今日一日の仕事を終え、大変お疲れのところ、また夜分寒い中、会議に御出席いただきありがとうございます。

検討委員の皆様、そして市議会議員の皆様には、いろいろとお忙しい中ではありますけれども、よろしく願いしたいと思います。

今年は、最強の寒波が襲来しているということで、またいろいろなところで雪による被害が出ておりますけれども、これらの地域が一日も早く平穏な日々が過ごせるようになることを願っているところでございます。

それでは、これより富浦地区学校再編検討委員会第5回会議を開会させていただきます。

これまで本委員会では、生徒数の見込みや、あるいは富浦中学校の現状等いろいろな面から御報告をいただき、そして、この子どもたちの将来に向けての検討といろいろ過ぎてまいりました。そして今回、前回の第4回会議の中で継続審議とされております、富浦中学校の再編（案）につきまして、小学校・中学校PTAの役員の皆様がアンケートを実施されたということでございますので、その内容と結果を御報告いただきながら、その後に委員の皆様方の忌憚のない御意見をいただきながら、本日の会議を進めてまいりたいと思いますので、お寒い中ではございますけれども、よろしくお願いいたします。

本日は御苦勞様です。

進行 ありがとうございました。

3 教育長挨拶

進行 続きまして、次第の3、教育長挨拶。
三幣教育長から挨拶を申し上げます。

教育長 では改めまして、こんばんは。

御出席いただきまして、大変ありがとうございます。

あいにく冷えておりまして、この部屋は特に底冷えがする部屋でありまして、ここで議会も開かれるんですけど、非常に、一日ここにいると下から冷えてきて辛いところで、皆さん方には大変申し訳ない環境でお詫び申し上げます。

また、今日の会議までPTAの方々にはアンケート等、会員の皆様の意見を集約するためにいろいろ御苦勞いただき、大変ありがとうございます。

なかなか会議のペースとしては遅いのではないかなというような感じもあるかと思いますが、私どもは決してそんなふうに思っておりませんので。

今、白浜小学校と千倉小学校の再編も進めているわけですけど、こちらのほうは、今日白浜地区の区長会にまいりまして、どういう状況かと言いますと、白浜小学校のPTAのほうから、再編検討委員会の委員を挙げただけでない状態が続いております。

白浜地区のPTAの役員の方々のほうでは、一つは再編検討委員会を立ち上げると、統合になってしまう。だから、再編検討委員会を開かないように委員を挙げないというような考えもごく少数あって。もう一方では、統合してもしなくても、あるいは統合しないという結論になって白浜小学校は今のまま単独で継続していく。この場合についてもPTAだけではなくて、地域の方々とか、多くの方々の協力をいただけないと、白浜小学校は存続していかないと。だからこそ、地域の方々、多くの方々に御意見いただいて協議をして結論を出すべきだ。したがって、再編検討委員会を立ち上げて、まず統合するのかしないのか。する必要があるかどうか

か議論すべきだという御意見の役員の方も、そちらのほうが多数意見なんです。残念ながらまとまっておきませんので、現在の段階、再編検討委員会は立ち上がっていない。このようなことを今日区長会のほうで報告してまいりました。

この間ですね、去年の5月1日現在では、白浜地区の今年度、今年の4月に7年度に入学する該当年齢の子どもたちが9人いたわけですけど、私どものほうに報告のあったものは、9人中6人が白浜小学校に入学する。残り3人は白浜小学校を選んでいない状況になっております。

学年の人数が少なくなってくると、やはりこの人数で果たして小学校生活を送らせることがいいのかどうかというのは、保護者は真剣に考える。そのようなことになる。これから白浜小学校に入ってくる2歳・3歳、4人、5人という学年もあるので、これはその子たちをどうするかという、その子たちの親御さんも含めて、やはり検討していかなくちゃいけないんではないかっていうのが私どもの考えであります。結論としては、今日も白浜地区に申し上げましたけど、協議をして、検討して協議をして、その結果として、白浜地区は小学校統合はしないという結論になれば、それは私どもはそれは受け止めますというお話をしてきました。

今の状況だけ見て、統合する必要はないだろう、あるいはまだ早いだろうとかそういうことではなくて、是非5年後、10年後ですね、この生徒数をみて、どうしたらいいかってことで、今日寒い中ですけど、御協議いただければ大変ありがたいと思っています。

どうかよろしくお願いいたします。

進行 次に、次第の4、議事に移る前に報告がございます。

本日の出席委員は、18名中13名です。過半数に達しておりますので、設置要綱第7条第2項によりまして、会議は成立します。

次に、本検討委員会は、設置要綱第7条第4項によりまして、公開となっております。傍聴の申し出がありましたら、会場の傍聴席に入っております。

また、議事録を作成し、ホームページに掲載したいと考えております。したがって、お名前を述べてから御発言くださいますよう御協力をお願いいたします。

以上で報告を終わります。

4 議事

進行 それでは、次第の4、議事に移ります。

設置要綱第7条第1項の規定によりまして、委員長に議長をお願いします。

議長 それでは、議長を務めさせていただきます。

会議は、設置要綱第7条第4項の規定により、公開とすることになっていきますので、傍聴の申し出がありましたら、これを許可します。

傍聴の申し出はありますか。

進行 ありません。

議長 傍聴者なしということです。

それでは、これより議事に入ります。

議事の(1)「富浦地区の中学校再編(案)について」を議題といたします。

事務局からの説明をお願いいたします。

事務局 それでは、議事の(1)「富浦地区の中学校再編(案)について」を説明いたします。

資料1を御覧ください。

資料につきましては、前回会議と同様となっております。再度、方向性について協議・検討をお願いいたします。

続いて、資料2を御覧ください。

こちらは、合同会議に進んだ場合の進み方の参考としていただくため、直近で中学校の統合を行った、白浜地区・千倉地区学校再編検討委員会合同会議の内容をまとめたものになります。

左側の赤枠の中が学校の名称・位置・時期に関する協議となっています。

位置について、事務局より安全性・施設・通学の3区分に分けた資料を提示して御協議いただきました。

第2回会議の枠の下に記載がありますが、追加で資料が欲しいとの発言がありましたので、事務局で用意をいたしました。

このように合同会議では詳細なことを検討していただくため、事務局で用意できる資料は提示しております。

なお、白浜地区・千倉地区では、通学距離や時間などのお話がありましたが、詳細なルートは通学支援部会という専門部会の中で話し合われました。

右側の赤枠は専門部会の協議内容となります。専門部会ごとに日程を調整していただき、会議を開催して協議をしていただきました。詳細につきましては、別紙にまとめましたので後ほど御覧ください。

資料2の裏面に意見具申と記載された枠があります。こちらは、両委員会から教育委員会へ協議の結果及び要望事項を伝えるものになります。市はこれを受け、条例の改正等の手続きを進めていくこととなります。

簡単ではございますが、合同会議に進んだ場合の参考としていただきたいと思います。

以上で説明を終わります。

議長 御苦労様でした。

次に小学校、中学校のPTA役員でアンケートを取っていただいたということでございますけども、協議の参考として、アンケートの内容と結果を教えていただいてもよろしいでしょうか。

委員 はい。

議長 お願いします。

委員 前回の会議後、小学校・中学校のPTAのほうでいろいろ話し合いまして、アンケートを行いました。保護者に対するアンケートを行いました。

資料が今日はないので、口頭で説明をさせていただきたいと思います。

アンケートにつきましては、11月の上旬にアンケートを行い、小学校・中学校それぞれで行いました。

現時点での保護者の皆さんに、富山中との統合についての是非、現時点ではどのように考えているか、というところでアンケートを取りまして、回答としては「統合に賛成」、「今はその時期ではない」の2択で行いました。

結果につきまして、お知らせいたします。

私のほうから小学校・中学校両方ともお話いたします。

始めに小学校です。

小学校のほうでの回答ですが、「統合に賛成」が42。「今はその時期ではない」が58。未回答が21です。次に中学校行きます。

中学校、「統合に賛成」が33。「今はその時期ではない」が38。未回答が17。

この数字なんですけども、「すぐーる」のほうを通じて行いました。そうすると、家庭の中で兄弟がいると、二つの回答になってしまうということがありましたので、そこを精査して、家庭数でいくつなのかというのでまとめましたので、今お話した数字は家庭数ということで御理解いただきたいと思います。

アンケートにつきましては、以上です。

議長 ありがとうございました。

ただ今事務局から、合同会議に進んだ場合にどのように進んでいくか、白浜地区・千倉地区の実績から説明をいただきました。

また、小学校、中学校のPTA役員からアンケート結果の報告をいただいたところでございます。

アンケート結果を考えると、合同会議に進むか、検討を中止するか、判断をすることは難しいかと思いますが、子どもたちの将来のため、方向性を決めて行かなければいけないと、このように考えております。

そこで、しばらくお時間を取らせていただきますので、所属ごとに分かれて御協議をいただき、それぞれのお考えの発言をしていただきたいと思います。方向性は大きく三つになろうかと思っております。

第一に、事務局提案のとおり、統合を視野に合同会議へと進み、富山地区と合同で協議を行っていく。

第二には、再編の検討を中止する。

第三に、合同会議とは進まず、富浦地区での検討を継続する。

この検討を継続するとした場合、検討委員会を開催する前に、教育委員会とPTA役員とで打合せをしていただき、実際の学校・生徒の状況から判断をして、検討を進めたほうが良いとなったら、検討委員会を開催するという形にしたほうが良いと思われます。

それで、配付されました資料1の検討する理由を改めて御確認いただきながら御相談をしていただきたいと、このように考えております。

御相談をいただくグループとしましては、行政連絡員代表の方々と一つ、保護者代表の方々と一つ、学校代表及び学識経験者の方々と一つの、計三つの班に分かれて御協議をしていただきたいと、このように思っております。

なお、この場合に意見の集約に至らなかった場合でも、意見の経緯等をお知らせいただければと思います。

それでは……。

教育長 質問よろしいですか。

議長 ちょっとこの前に教育長のほうから質問があります。

教育長 アンケートの内容について教えていただきたいんですけど、現時点でという、現時点の統合ということがありました。後は、設問のところで、「今はその時期ではない」という。

そうしますと、その「今」というのがどのぐらいの時間をもっているのか。例えば、ここ1、2年のことなのか、「今」っていうのが5年先、10年先まで入っているのか、その辺の説明があって、アンケートに答える方が同じような「今」についての理解があってお答えできるようなアンケートになっているかどうかののを、ちょっと教えていただきたいと思います。

議長 進行上、大変失礼いたしました。

先ほど委員のほうから、小中学校のアンケート結果について御説明をいただきましたけれども、これについて御質疑の時間を取りたいと思います。

それでは、よろしくお願いします。

委員 今の御質問に対してですが、今はこの回答というのは特にPTA、保護者、ほかの方々との共通という形じゃなくて、あくまでも小中PTAの執行部で確認して決めた設問です。

ですので、「今は」というところの捉え方は人それぞれになってくるのかなと思います。

日本語の中で「今は」っていうところをどう捉えるかは、このアンケートを受け取った保護者それぞれがどのように考えるかはちょっとすいません、こちらのほうでは分らないです。

教育長 分かりました。

受け取る側でその「今」の、時間の、何年とか、今のこの時期だとかそれは受け取る側の判断だということですね。ありがとうございます。

議長 先ほどの説明に対しての質問があればお伺いしたいと思います。

ほかに委員さんのほうで、アンケート結果について御質問ございますか。

《しばらくの間》

議長 この報告をいただいた数字で、今現在このような状況で、この今の時期ではないというこの時間的なものについては、ただ今教育長から質問されて回答いただいた内容でございます。

よろしいですか。

《しばらくの間》

議長 それでは、先ほど私が先走って申し上げてしまったんで申し訳ありませんけども、この問題については、先ほど説明しましたように、3班に分かれて、それぞれのグループごとに意見調整をしていただければ、このように思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

この場合に、それぞれグループで検討していただく時間は約30分ということで、今現在7時25分でございますので、8時ということでこの間、時間を取らせていただきます。

それまで暫時休憩といたします。

なお、班によりまして、会議調整をしていただく場所については、事務局のほうから御案内申し上げます。

《休憩》

議長 それでは皆さん、お席に着かれたようでございますので、休憩前に引き続き会議を再開いたします。

子どもたちの将来に関わる重大な案件でございますので、多数決によって決めようというものではございません。

始めに、行政連絡員代表の方からお願いしたいと思います。

委員 今話し合いをしましたが、なかなかこれ子どもの将来どうするのかということではなかなか難しい問題であって、判断しようというのはなかなか大変なことだと今話し合ってきたんですが。

結論としますとですね、やっぱり子どもをこれから育てていこうとする保護者たちが半々に割れている。今は時期ではないっていうのが多いという状況の中で、強引に推し進めていくということは、あまりいい方法ではないかなということでございます。とは言っても、生徒がどんどん減っていくという事実があるわけございまして、PTAの皆さんも、保護者の皆さんも、特に中学校は3年で高校に行ってしまうわけですから、どんどん入れ替わっていく中ではありますが、すべての数が減っていくという事実がありますので、代々ですね、ずっとこの学校をどうしていくんだということは、保護者の中で話し合いを続けていってほしいなという希望はあります。

我々としましたら、資料として推移の見込みという表を富浦地区と富山地区いただいております。この数字のとおりにならずに必ず推移していくことじゃないということはあるんですけども、例えば令和6年、富浦中学校は91名。ずっと先に行きますと、令和14年になると、富山と富浦で統合した場合、91名になると。前のお話で出ましたが、7、8年経つと今の富浦中学校と同じ状況が出てくることがあるわけなので、その今の数がいいというわけでは無いんですけれども、アンケートの中で、「今時期ではない」の「今」の中に時間軸が入ってないという話でございましたので、今私が言ったような、今の状態に戻ってしまうような時期を目途にですね、一度ちょっと休止して、この話し合いを休止して、今言ったような時期を目途にもう一度再検討を始めるというふうにしたほうが

いいんじゃないかというのが、我々の答えというんですかね、意見でございます。

議長 ありがとうございました。

確認しますけど、今まで説明があった数字を確認しながら、今後のその推移を見ていくと、こういうような形でよろしいでしょうか。

ありがとうございました。

議長 次に、保護者代表の方からお願いいたします。

委員 P T A代表の結果なんですが、先ほど説明したとおり、保護者向けのアンケートということで、賛成反対あったんですが、3割から4割ぐらいが賛成で、4割から5割が今はその時期じゃないみたいな、どっちにっていうのもああいう結果だと判断しかねるというのがあるので、P T A側からすると3番ですか、一応検討は続けていくということで話がまとまりました。

以上です。

議長 ありがとうございました。

保護者の皆さんの御意見としては、検討は続けていくと、こういうことでよろしいでしょうか。

分かりました。

議長 次に、学校代表及び学識経験者の方からの御意見をお願いしたいと思います。

委員 それでは、学校代表と学識経験者のグループを代表しまして、答えさせていただきたいと思います。

結論から言いますと、富浦地区でのこの再編については、しばし休止でも継続して行ってほしいという結論でございます。

まずは保護者アンケートの分析をもう少し細かいところまでやったほうがいいのかなっていう感じを受けました。

特に小学校の保護者のアンケート、まだ早いっていう数が非常に多い

ってというのは、時期的にみて自分らがその対象になるだろうっていう想定があるというふうに見受けております。

子どもの数が減るのは確かなことでありますので、そこら辺を今後もPTAの中でまた子どもも含めてのほうがいいかと思いますが、再編についての検討をしていっていただければと思います。

併せて、今後、将来的にですね、富山との、富山を含め、三芳も含め、また嶺南中学ということも視野に入れながらですね、いろいろな角度で再編について検討していっていただければということを、学校代表と学識経験者などで協議いたしましたので報告させていただきます。

以上です。

議長 ありがとうございました。

ただ今の関係でいきますと、将来の子どもの数、あるいは現在の案の範疇ではなく、それ以上にもっと広い広域的なものも考慮しながら、この検討を進めて行ったらよろしいんじゃないかという御意見でございました。

ありがとうございました。

議長 ただ今、各グループの委員の皆様から御意見を頂戴いたしました。それぞれの御意見を聞いている限りでは、検討を継続するという御意見が多かったように思いますが、まずはその方向性について御意見はございますでしょうか。

ただ今3グループの皆さんには、慎重に御協議をしていただきましたけれども、この意見のまとめについて発表いただきましたが、それらについて御質疑等あればお伺いしたいと思います。

委員 検討を継続するというのは、どういう形で継続するということをイメージなんですか。ってというのは、これも検討委員会で検討を継続する。今話が出たのは、私ども言いましたけど、今学識さんも言いましたけども、学校、保護者、子どもも含めてって話もありましたけども、そういう方たちでこの学校をどうしようとするやり方もあるし、検討継続していくっていう形がどうするかっていうのを教えていただければ。

議長 教育長、お願いします。

教育長 先ほどアンケートに対して、「今」ってのはどの期間を考えているんだという質問したんですけど、私どもこの会議を立ち上げた時点ですね、皆様方にお話した段階で、富山中と、っていうことでお話したんですけど、たとえ富山中との統合ということになっても、4年先、5年先になるだろうということを想定しました。

だから、私どもで「今」っていうと、今協議をしているってことは、5年先を見据えてっていうことで、ちょうど今年度入れれば、令和10年度に富浦中は91人っていう数字になってくるわけですね。そのあたりを想定して、この人数でどうなのか、あるいはその先を考えてみますと、富浦中は令和13年度だと44人になってくるっていう。

そうなって来ますと、やはり今の段階からその数字を想定して、統合するとしたら何年度から統合しようとか、そういったことは今から議論していただかないと。議論を始めました、すぐ統合しますっていうことはできないんで、改めて生徒数の変化ですか、あるいは今、私ども想定してなかったんですけど、嶺南中学校をっていうようなお話も今出ましたので、富山中に限らず、統合するとしたらどことの可能性があるとか、そういったことも含めて検討していただければ、私どもとしては大変ありがたいと思っています。あるいは、検討していかなければいけない状況になっていると思っています。

統合自体は4年先、5年先になると思いますけど、検討自体はやはりやっていく必要はあると思います。

議長 ただ今の回答でよろしいでしょうか。

今、私たちは富山中との統合ということでこの議論は進めているわけですが、この生徒数の変化というものが、5年先あるいは10年先にはまた相当違った変化というものが出てくるのではないのか。

委員の皆さんの中にもやはりそういった心配があるんじゃないか。したがって、今教育長がお話された統合先もどのように変化するか、選択していくか、これもこの検討委員会の課題として捉えてもいいのかなというふうな気はいたしますけれども。

ですから、今の富山との統合だけではなくて、さらには大きく発展していく。これも一つの検討の題材になってくるんじゃないのかなという思

いがしてはおります。

以上です。

議長 教育長。

教育長 私ばかり発言して申し訳ありません。

私どももちょっと想定した以上の動きが出てきているなっていうのは、先ほど白浜小学校は今度予定としては9人入学してくる、そのうち3人が白浜小を選ばないような状況になってますってことはお話しました。

私は、ショックというか意外だった。意外に受け止めてますけど、今年三芳小学校を卒業して、本来三芳中学校に入る生徒のうち、正確には10人が嶺南中に入学することになってます。三芳小学校から三芳中学校に入学する生徒が14人という状況になってます。

ですから、私どもの中では、内房地区で三芳、富浦、富山っていうイメージがあったんですけど、保護者、生徒のほうはそういう枠を越えて動き始めてる。

したがいまして、富浦と富山中の統合ということで提示したわけですけど、これは先ほど皆さんのほうから意見出ましたけど、この辺りも私ども当初の提案にこだわらないで皆様方から意見いただく中で、子どもの数が減っていくのはもう当然のことっていうか、厳しい現実ですので、それにどう対応していくかってことでは、もっとこれは柔軟っていうんですかね、私ども考えてる枠以上で対応していかなくちゃいけないのかなということは考えています。

委員 ありがとうございます。

最初私が質問したのは、この検討委員会をこのまま続けて議論することが何かあるのかなと。

今までと同じ内容で、同じ質問、同じ答弁を繰り返して検討する人も内容が乏しくなる。この検討会そのものを続けて意味はないのかなという。

最初思ってたんですが、今教育長さんのお話で、最初は三芳は入りませんよってスタンスでやってたんですが、そういうものの枠を越えて、グループをどうするかというようなことも含めて、いつ頃を目指してやっていこうかということも含めてですね、考えていきましようっていうんで

あれば、この委員会を続ける意味はね、あるのかなという気がしますので、そういう意味で検討を続けていくというのもいいのかなと思います。

議長　ほかに委員の皆さんで御意見等がございましたら、お願いしたいと思います。

《しばらくの間》

議長　確かに、今委員がおっしゃったように、この委員会で同じような案件で検討するとしたらいつまで経っても、なかなか前へ進まないではないのかなというお話がございました。

これに対しては、ただ今の三芳中あるいは白浜小、いろいろな各学校の変異、変動というものが、今御報告されましたけども、我々もやはりそういう諸般の事情にありながら、この委員会は変化していくのもやむを得ないのかな。また、そのようにしていくべきではないのかなというような思いもしております。

この辺はいかがでしょうか。

委員　私もそれでいいとは思いますが、相手があるんですよね。

富山中学のほうは、話が、合同の会議へとという方向で、もう腹決まってるようなことを伺ってますので、相手さんがそのつもりでいるのに、こちらはそうはいかないよってということで、その辺の調整は心配ないのかなと思うんですけれども。

破談ですよ。言い方悪いですけども、破談になるのかなと思うんですけど。

議長　教育長。

教育長　破談ということにはならないと思いますので、富山中のほうは生徒数の減少をみて、やはりどこかと統合をしなくちゃいけない。私どもが示したのは、富浦中学校ということでしたけど、富浦地区のほうは、今のようなもっと私どもが提示した枠ではなくて、もっと検討する方向があるだろうということで議論を進めていくということでしたら、私どもは3月

に富山地区の再編検討委員会を予定しておりますので、その折に富浦地区の今の状況を説明して、こちらの富浦地区の統合が決まるまでは、そのまま待っていただくという、あるいはこれを受けて、富山地区のほうがまた違った対応するかっていうことは、富山地区の方が考えていくことになるかと思っておりますので、いずれにしても、この前お示ししたもののの中では、富山地区の生徒数はぐっと減っていきますので、富山地区についても、大きな課題意識は持ってますんで、いずれにしても統合していくことも一つの方法だってことで御理解いただけてますんで、皆さん方が富山地区との統合以外のことも考えていくってことについては御理解いただけるように私ども説明してまいります。

議長 ただ今の回答でよろしいでしょうか。

3月に開かれる富山地区への回答の中で、富浦地区はこのように今考えも出てきているよというので、富山がどのように対応してくるか。

両地区とも、いずれ生徒数は減少していく、この事態は変わらないわけですから、その辺もまた教育長のほうから説明をしていただくということでいかがでしょうか。

委員 P T Aさんのほうに確認したいんですけど、今は時期ではないっていう方が多いんですが、保護者の方全体としては、生徒数減っていくんで、どこが相手ということはないんですが、統合して大きく、人数が増えた学校にしたほうがいいだろうという方向なんではないでしょうかね。

そういう考えでいいんですよ。

委員 今回取ったアンケートの中でそれ以上はちょっと読めないんで、まずは、今のうちのほうの今回出した結論は、今のアンケートの結果の数字を踏まえた上で、こうじゃないかなというのを伝えたまでです。

それが、「統合に賛成」、「今はその時期ではない」のが、今回のアンケートでは、「今はその時期ではない」が多かったです。

ただ、賛成の人もある程度いました。だから、ある程度いるんで、その人たちの意見も踏まえなきゃいけないっていうのがあったんで、うちの結論は継続だったんです。

ただそれ以上のところは、保護者の皆さんがどう思ってるかっていう

のは、それ以上は現時点ではわかりません。

議長 ありがとうございました。

アンケートの調査の時点では、あくまでも富山との統合がどうなるかっていうことでの結果と、こういう報告内容だということですね。

委員 はい。なので、富山との統合に対してどうかなので、統合に賛成という意見もそれなりにあったっていうのも、確かに数字上は事実なので、そういったことも踏まえた上でのPTAの意見だというふうに捉えていただければと思います。

委員 すいませんありがとうございます。

それもあの、検討会の検討事項として大前提の一つなんで、方向性はどっちを向いているのかなっていう、保護者の方。やっぱり地域づくり、我々地域づくりも大事ですけど、子どもを育てるっていうことで保護者の方々が考えてることがやっぱり一番重いというか重要なことですので、保護者の方たちがどっちの方向を向いてるのかっていうのは、これから検討を続けていくっていう中で、いろいろな形で方向性確認しながらですね、進めて行かないといけないかなというふうに思ってます。

その辺はちょっとPTAの方々大変でしょうけど、いろいろ考えていただいて、お願いしていきなさいいけないことかなというふうに思っております。

議長 ありがとうございました。

いずれにいたしましても、この検討委員会の中で、富山と富浦ということで今現在まで進めてきましたけども、いろいろ議論を交わしていく中では、さらに大きな枠組みも生じてきやしないか、またこれらについては、一旦今の段階では継続するという形でこの後、学校、PTAの方々の御意見も、それらによってまた変わってくるのではないのかなっていうような気がいたしますけども、いかがなものでしょうか。

委員 PTAのほうの話で、一応継続審議という話をさせていただいたんですけど、それは賛成が一定数ありますということの話がある中でそうい

うふうな結論を出したところなんです、先ほどの学識経験の方のお話で枠組みが三芳とか嶺南とかもちょっと考えたいよっていうお話ですとか、教育長さんが三芳中にあがる子たちが減ってきて、ちょっとその枠組みを検討する必要があるかも。

また、もう1回考えなければということのお話も先ほどあったところで、そうなってくると、今はあくまで富浦中と富山中の両校の統合ということの、学校地区の再編検討している中で、もし枠組みが変わる可能性があるっていうことになってくると、ここの継続審議ということがそもそも枠組みまで我々が決めるわけではないとなるとちょっと難しいのかなっていうのは、あくまで案がある中で、それをどうしましょうかっていう話を多分していると思うので、枠組みまで変わってきますよってなってくると、ちょっとこれはこのまま継続っていうことではないんじゃないかなっていうふうに思うんですけども、あくまでもここの富浦・富山の統合の検討であるならば、もう1回やればいいんですけども、というふうにはちょっと感じるところです。もし枠組みも変わるのであれば、もうこれは一旦中止をして、その枠組みで検討をすべきかなというふうには感じるころではあります。

以上です。

議長 この枠組みの変化について、教育長お願いします。

教育長 枠組みの変化で、千倉4校の小学校を統合した例があります。私どもが示した案は七浦小、忽戸小、朝夷小をまず統合する。その後、年数が経ってから、3校が一緒になった小学校と健田小学校を統合するということ提示したんですけど、話し合っていく中で、一挙に4校を一つにしようという案が再編検討委員会のほうから出てきまして、私どもは、私どもの出した案を撤回しまして、4校を一度についでいう。

嶺南のほうにつきましても同じでありまして、和田、丸山という枠組みでこだわってたわけですけど、話し合いの中、保護者等の意見のほうで和田、丸山を越えて、旧町を越えて一緒にしようという枠組みが変わってきてますので、私ども無難と言いますか、そんなに無理のない提案ということで、富山・富浦を提案したわけですけど、皆さん方が話し合っていく中、あるいは皆さん方の状況をみて、いやこうじゃなくて、枠組みはこうした

ほうがいいんじゃないかていうようなことが出てくれば、私どもはそれに対応して具体的に考えていくつもりであります。

議長　ただ今、教育長のほうから枠組みが変化した場合には、そのように対応を図っていきますよというようにお話でございましたけれども、いずれにしても、私たちに提案されたのは、富山と富浦という形での枠組み、これをさらに越えてという声も今、ちらほら出てきている状況、これも状況の変化だと思いますけれども、この状況の変化に対応するためには、また教育委員会のほうからも、このような意見に基づいてこういう形になるってものの提示というものは出されるんでしょうか。

教育長　ここで協議していったものが果たして物理的に可能なのかとか、要するに例えば4校、四つの中学校を一つにした場合にそれを一つの学校にする容量がある、受け入れるだけの学校があるのかどうかとか、そういったものを検討しなくちゃいけないと思いますし、あるいは容量がないので統合する時期をずらすとか、そういったことも検討していかなくちゃいけないと思いますので、いずれにしてもそれは私どもが具体的に数字をもとにして検討してまた提示していかなくちゃいけないものだろうと思ってますんで、皆様方には、この生徒数が減っている中で、子どもたちの教育環境としてどういう状況が一番いいのかということを観点にして議論していただければ大変ありがたいと思ってます。

議長　ただ今の教育長の回答でよろしいでしょうか。

議長　これは、先ほど委員からもお話がありましたように、富山地区との兼ね合いもあるんじゃないかと、こういうようなお話もございますので、3月になったら富山地区での話し合いがなされるということですから、富浦の意見として、こういうものが出てきているよというのを報告していただきながら、さらに検討を加えていくような、そういうスタイルがとれないでしょうか。

教育長　私が結論めいたことを申し上げるのは大変恐縮なんですけど、私自身も今、議論の流れで一つ驚いておりまして、嶺南というのが出てきて、そ

ここまで枠を広げてっていうのは全く用意してませんでしたので、ただそのような意見が出てきて、私だけじゃなくて皆さん方の中でも戸惑ってる部分があるんじゃないかと思いますので、今日このまま議論するよりは、今話が出たものを踏まえて、富浦中学校、富浦地区の中学校の子どもたちの数が減っていく中で、どういう可能性があるのか、あるいはどういう形にしたら一番生徒の教育環境としていいのかっていうものを、それぞれ持ち帰っていただいて、それで次回の会議に出て、お一人おひとりにまた、お考えいただけるのが一番いいんじゃないかなと思ってます。

私のほうも、もう1回事務局とまた話をして、再度次の会議に臨みたいと思います。ただ、方向性としては、先ほどお答えしたように、子どもの教育環境にとって、生徒数が減っていく中でどれが一番いいかという観点で協議していただきたい。

ハードの面とか、そういったものについては、私どもそれに対応できるような検討は随時してまいりたいと思います。

議長 ありがとうございました。

これまでいろいろな御意見をいただいているところでございますけども、あくまでも今のこの我々が検討するという内容について継続をしておくという形で時間を次に延ばしていく。こういう方法でもよかれと思うんですが、いかがなものでしょうか。

議長 その間には、富山との問題ももちろん出てまいりますけれども、意見としてこういう問題が出てきましたよというのが、やはり皆さんが子どもさんたちの将来を考えて、何かもっと違う道も選べないのかなという思いがこの意見を交わしている中で出てきたんではないかと、このように思っておりますけども、ですから、とりあえず、この会議については継続というような形。

これは富山だけに限らず、継続というような形で今後ともこの会議は進めていくよと。枠組みはこの後の変化に対応するように、また教育委員会のほうでも考えていただくということでいいのかなという気もしますけれども、いかがでしょうか。

委員 富浦地区の保護者説明会のときに、基本的にはもう三芳は考えないっ

という話があって、我々 P T A 役員以外の保護者の方々も多分それは認識されていると思うんですが、ただ、今日の、今のお話で、三芳とか枠組みがもう 1 回あるよっていうことであると、恐らくこのアンケートの内容も、結果も変わってくるのかなと思うんですけど、今はこの時期ではないってというのは、もしかしたら、富山とだけくつついてもって思っている方もいるかもしれないですし、これは想像なんですけれども。

なんかそういうこともあるのであれば、また継続していつて枠組みの変更までありますよってことであれば、これは継続してまたうちのほうの、富浦地区の保護者のほうにもまた随時話をして、アンケートを取ってとか、意見を聞きながら進めていくのはありかなとは感じております。

以上です。

議長 ありがとうございました。

ただ今、P T A の方からの御意見がございましたように、とにかく枠組みの変化はこの後の会議を継続していく中で、変化が出てきた場合には、それなりに対応していくよというようなこともあるのかなという御意見でございますが、いかがでしょうか。

したがって、この会議については継続というような言葉ではいろいろ語弊があるかも知れませんが、そういうような取り扱い方でよろしいでしょうか。

《しばらくの間》

議長 子どもさんの将来を考えて、簡単に答えを出せる問題ではないわけですが、さらに検討する時間をいただきたいという思いであるかと思いますが、いかがなものでしょうか。

《しばらくの間》

議長 御意見ございませんか。

意見がないようでございますので、それではお諮りいたします。

富浦地区学校再編検討委員会といたしましては、合同会議へとは進まずに、富浦地区の検討を継続するということによろしいでしょうか。

《しばらくの間》

議長 委員の皆様、いかがでしょうか。

合同では進まない。富浦地区としてはいろいろな事例が出てくるかもしれませんが、検討を進めていくよというようなことでよろしいでしょうか。

《異議無しの声あり》

議長 御異議ないものと認めます。

それでは、引き続き富浦地区での検討を継続したいとこのように思っております。

事務局で、この後の調整も一つよろしくお願いしたいと思います。

議長 次に、議事（２）「今後の日程等について」を議題といたします。

事務局から説明をお願いいたします。

事務局 それでは、議事（２）「今後の日程等について」を説明いたします。

令和７年４月になりましたら、事務局から各所属へ検討委員の推薦依頼を行います。引き続き検討委員をお受けいただく方もいらっしゃると思いますが、改めて報告をお願いいたします。

また、交代される委員の皆様につきましては、新たに選出される方々とお話をする機会があるようでしたら、これまでの会議の内容について引き継ぎをお願いしたいと思います。お配りした資料につきましては、令和７年度第１回会議で、同様のものを事務局から配布します。

推薦の報告を受けた後、教育委員会で検討委員への委嘱の手続きを行います。手続きが完了し次第、正副委員長に令和７年度の１回目の会議日程を決定していただきます。委員の皆様や関係者の皆様には後日、手紙にて御案内いたします。

以上で説明を終わります。

議長 ただ今、事務局から説明がございました。

それでは、これについて御意見・質疑等があればお受けしたいと思えます。御発言をお願いいたします。

《しばらくの間》

議長 特にございませんか。
御意見はないようでございますので、お諮りいたします。
事務局の提案のとおり、正副委員長と事務局で相談をして決定することとしてよろしいでしょうか。

《異議無しの声あり》

議長 御異議ないものと認めます。
次回会議の日程は、正副委員長と事務局で相談して決定することとします。

議長 以上で本日の議事がすべて議了いたしましたので、事務局に進行をお返しいたします。
お願いいたします。

進行 議事の進行ありがとうございました。

5 閉会

進行 事務局からはその他ございませんが、委員の皆様から何かございませうでしょうか。

《しばらくの間》

進行 特別ないようでございます。
以上をもちまして、富浦地区学校再編検討委員会第5回会議を閉会いたします。
御協力ありがとうございました。